

令和三年度 奈良県租税教育推進連絡協議会会長賞

税と支え合い

大淀町立大淀中学校 二年 宿里 香織

私は最近、コロナのワクチンを打ちました。ニュースで、コロナワクチンは税金によって無料で接種できるということを聞いてすごく驚きました。税金によって、医療が支えられているんだなと思いました。気になったので母に聞いてみると、

「コロナワクチンは国民の負担を減らすために税金のお金で無料で受けれるんだよ。税金は、国民を守っているんやで。」

と言われました。私は税に興味を持ったので税について調べました。

調べてみると、税金は「社会保障」「地方交付税」「公共事業」「文教」「新型コロナウイルス対策予備費」など、私たちが安心できる生活を送るために、さまざまな事に使われていることが分かりました。私は

「それなら消費税をもっと高くすればいいんじゃない。」

と母に聞きました。母は

「消費税を高くすると社会保障は充実するけれど、一人一人の負担が大きくなるから、それは難しいと思うよ。」

と言っていました。考えてみると、確かに消費税が高くなればなるほど、私たちが多くのお金を払わないといけなくなるなと思いました。日本は、歳出が税収を上回る財政赤字だと聞いたことがあります。私は国民にあまり負担をかけず、赤字をなくすにはどうすればいいのか、考えてみました。国民が多く税金を負担しなければいけないことは、少子高齢化と関係があるのではないかと、思いました。高齢者が増えていくので社会保障の費用が必要になる中、税金を納める働き手が減っていることは、日本の財政赤字にすごく関係していると思います。私は、少子高齢化を止めることも、解決策の一つになるのではないかなと思いました。国民の負担を減らし、財源を増やすことは、すごく難しいんだなと思いました。

私たちの行っている学校や普段歩いている道路も税金でつくられています。改めて、税金はなくてはならないものだと感じました。

税について調べてみて、税金は私たちが健康で文化的な生活を送るためには、なくてはならないものだということが分かりました。

そんな生活を送るために、私たちができることは、税金を納めて、国民の一人一人が国民のために支え合うことなのかなと思いました。